

高知県学校安全総合支援事業 実践内容

1. 実施方針

モデル地域では、市町村教育委員会を中心として、以下のような取組を拠点校とモデル地域内の学校とが連携して実践し、学校安全担当教員を通じて、各学校の取組等を共有する等、モデル地域全体での学校安全体制を構築する。

2. 拠点校における具体的な実践内容

安全教育・安全管理の効果的な実践		提出物及び提出時期
必須項目	学校安全担当教員を中心とした学校安全推進体制の構築 ※全教職員が文部科学省「教職員のための学校安全e-ラーニング」を受講 ※「学校事故対応に関する指針【改訂版】」の教職員への周知 ※「学校における安全点検要領」の確認	
	地域や関係機関及びモデル地域の学校（園）等を委員とした実践委員会の立ち上げ、開催	
	「安全教育全体計画（児童生徒等に育成を目指す安全に関する資質・能力を目標に設定）」「学校安全計画」の見直し・共有 ※「安全教育全体計画・学校安全計画 チェックリスト」の活用	「安全教育全体計画」 「学校安全計画」 5月末日
	「指導計画モデル」をイメージした教科等横断的な安全教育の実施（安全教育参考資料P45～参照）	「指導計画モデル」 5月末日
	「危機管理マニュアル（学校防災マニュアル）」の保護者・地域・関係機関等への周知、訓練等を踏まえた改善	「危機管理マニュアル」 5月末日
	事業目標の達成状況を測る成果指標の設定と検証	事業計画書で設定 完了報告書で検証
	児童生徒及び保護者の意識や資質・能力等の変容の分析 ※事前・事後アンケート、面接法、観察法、ポートフォリオ、作文、レポート、作品、話し合い等	完了報告書等で報告
	全校研究授業（1回以上）（可能な限り1学期に実施） ※「高知県安全教育プログラム」に基づく実践、副読本・安全教育参考資料を活用した研究授業の実施等	指導案等 （授業2週間前）
研究発表会の開催（公開授業、実践発表、児童生徒発表、研究協議等） ※安全教育参観日、市町村主催の研修会や発表会等と兼ねることも可	開催案内等 （2ヶ月前）	
県主催の推進委員会や研修会（成果発表会や安全教育研修会等）での実践発表	発表データ 実践報告書の提出	
※「安全教育全体計画」「学校安全計画」「危機管理マニュアル」「指導案」等については、提出後、学校安全対策課からのフィードバックを参考に改善を図る。		
任意項目	外部有識者による指導助言など専門的知見の活用や先進校等視察 ※県外への視察研修を実施した場合は、研修報告書を速やかに提出	視察研修報告書 （速やかに）
	探究的な学習の実施（安全マップづくり、地域と連携した安全活動等）	マップ等の成果物 （完了報告時に提出）
	保護者、地域、関係機関、近隣校（園）等と連携した安全活動（例：地区防災組織・消防団等との連携）	完了報告書へ 具体的に記載
	家庭への啓発（保護者との合同学習会や合同避難訓練の実施、安全教育参観日の開催、安全教育だよりの発行等）	完了報告書へ 具体的に記載
	国の主催する研修会等への参加（学校安全指導者養成研修（NITS研修）、学校安全指導者研修会、学校安全総合支援事業「全国成果発表会」、311教訓伝承・被災地視察研修、SPS推進員養成セミナー等）	完了報告書へ 具体的に記載

3. 防災キャンプの実施（任意） ※災害安全領域

各地域における被災時の対応等について、学校等を避難所とした体験的なプログラムを盛り込んだ防災キャンプを実施することにより、学校・地域・関係機関の連携の強化、地域住民の防災意識の向上を図る。

学校等を避難所とした体験的なプログラムを盛り込んだ防災キャンプを実施すること。

※児童生徒等の保護者や地域住民等の参画を得て実施すること。

※学校、PTA・地域の自主防災組織及び関係機関等との連携を図りつつ実施すること。

4. 防犯カメラの設置（任意） ※生活安全領域・災害安全領域

学校安全計画に基づいた訓練（避難訓練、防犯訓練等）に計画的に活用することを目的とした場合、拠点校のみに設置することができる。

避難訓練、防犯訓練等で活用した事例について、完了報告書及び実践報告書で報告すること。

※事業終了後に防犯カメラを継続して使う場合には、その後のランニングコスト等は、受託者の負担となります。

5. 委託額 別に通知する